

## (教)教職実践演習(小学校)(SA)

17909

担当者名 / Instructor 中西 仁

単位数 / Credit 2

## 授業の概要 / Course Outline

本授業では、各自のこれまでの学習(履修)状況・教員養成トレーニングを振り返り、自分のまだ残っている課題を定め、担当教員の指導のもとに自分用の研鑽計画をたてて実行する。その際に教師として現場に立つ前に必要な資質を再度確認しながらすすめる。個別計画にしたがって、研鑽計画を実行し、成果を発表する。

## 受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

教員免許取得後の初年度赴任の教員として職務遂行が可能であるために欠けている部分はないか、教育実習をはじめとするこれまでの学習(履修)状況を振り返る。個々人の課題を見つめ、研鑽計画を作成し、実習、調査、フィールドワークを通して資質向上に励む。教師としての使命感、社会性、生徒指導、教科指導の面において求められる能力を再度確認し、自らの力量との差を自覚し、自らの課題を解決する姿勢と手法を身につける。

## 事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

受講資格として、受講年度において、卒業見込みおよび教員免許状取得見込みであること。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	イントロダクション・研鑽計画作成	自己の課題を明らかにする。そのためのプロセスとして、これまで受講してきた教職に関する科目・教科に関する科目・又は科目を受講して学んだことを議論させる。さらに、自己の課題に基づいて、本授業での「研鑽計画」(調査、フィールドワークなどの計画)を立てる。
2	実践力向上演習	ケース・スタディもしくはロールプレイ(社会性・対人能力・教育愛・生徒指導・学級経営・・・)、ディスカッション(教職の意義や教員の役割、職務内容などに関するディスカッション)。これまでの教職課程の授業、ボランティア、インターンシップ経験など総動員。
3	各自の課題と「研鑽計画」の発表	教員として求められるさまざまな資質に関わるテーマの設定と研鑽計画の相互点検。
4	仕上げの模擬授業に向けての準備(グループワーク)	教育実習体験を踏まえ、指導案作成。教材作成。
5	仕上げの模擬授業に向けての準備(グループワーク)	教育実習体験を踏まえ、指導案作成。教材作成。
6	仕上げの模擬授業	模擬授業の合評会を行い、改善案を検討・提示する。
7	仕上げの模擬授業	模擬授業の合評会を行い、改善案を検討・提示する。
8	仕上げの模擬授業	模擬授業の合評会を行い、改善案を検討・提示する。
9	仕上げの模擬授業	模擬授業の合評会を行い、改善案を検討・提示する。
10	学校教育・教師教育についての講演・質疑応答	ゲストスピーカーの実践から「教師とは何か」について学ぶ
11	「自己評価シート」発表	「自己評価シート」を発表。それに基づき、各自の「研鑽計画」の実施過程を点検。
12	「研鑽」に基づいた発表 相互批評、課題の確認	
13	「研鑽」に基づいた発表 相互批評、課題の確認	
14	「研鑽」に基づいた発表 相互批評、課題の確認	
15	教職課程の学びの総括	立命館大学の教職課程教育がめざす、教師力の基盤である三つの力「高い専門性」「子ども(人間)理解力」「伝える力(=実践力)」は身についたか。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

## 成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	平常点評価 100% ・「研鑽」についてレポート提出。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

テキストの指定はなし。適宜、参考となる図書を紹介する。講義、また演習では、適宜、資料の配付を行う

## 参考書 / Reference Books

適宜、参考となる図書を紹介する。

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

## (教)教職実践演習(小学校)(SB)

17910

担当者名 / Instructor 山下 芳樹

単位数 / Credit 2

## 授業の概要 / Course Outline

本授業では、各自のこれまでの学習(履修)状況・教員養成トレーニングを振り返り、自分のまだ残っている課題を定め、担当教員の指導のもとに自分用の研鑽計画をたてて実行する。その際に教師として現場に立つ前に必要な資質を再度確認しながらすすめる。個別計画にしたがって、研鑽計画を実行し、成果を発表する。

## 受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

教員免許取得後の初年度赴任の教員として職務遂行が可能であるために欠けている部分はないか、教育実習をはじめとするこれまでの学習(履修)状況を振り返る。個々人の課題を見つめ、研鑽計画を作成し、実習、調査、フィールドワークを通して資質向上に励む。教師としての使命感、社会性、生徒指導、教科指導の面において求められる能力を再度確認し、自らの力量との差を自覚し、自らの課題を解決する姿勢と手法を身につける。

## 事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

受講資格として、受講年度において、卒業見込みおよび教員免許状取得見込みであること。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	イントロダクション・研鑽計画作成	自己の課題を明らかにする。そのためのプロセスとして、これまで受講してきた教職に関する科目・教科に関する科目・又は科目を受講して学んだことを議論させる。さらに、自己の課題に基づいて、本授業での「研鑽計画」(調査、フィールドワークなどの計画)を立てる。
2	実践力向上演習	ケース・スタディもしくはロールプレイ(社会性・対人能力・教育愛・生徒指導・学級経営・・・)、ディスカッション(教職の意義や教員の役割、職務内容などに関するディスカッション)。これまでの教職課程の授業、ボランティア、インターンシップ経験など総動員。
3	各自の課題と「研鑽計画」の発表	教員として求められるさまざまな資質に関わるテーマの設定と研鑽計画の相互点検。
4	仕上げの模擬授業に向けての準備(グループワーク)	教育実習体験を踏まえ、指導案作成。教材作成。
5	仕上げの模擬授業に向けての準備(グループワーク)	教育実習体験を踏まえ、指導案作成。教材作成。
6	仕上げの模擬授業	模擬授業の合評会を行い、改善案を検討・提示する。
7	仕上げの模擬授業	模擬授業の合評会を行い、改善案を検討・提示する。
8	仕上げの模擬授業	模擬授業の合評会を行い、改善案を検討・提示する。
9	仕上げの模擬授業	模擬授業の合評会を行い、改善案を検討・提示する。
10	学校教育・教師教育についての講演・質疑応答	ゲストスピーカーの実践から「教師とは何か」について学ぶ
11	「自己評価シート」発表	「自己評価シート」を発表。それに基づき、各自の「研鑽計画」の実施過程を点検。
12	「研鑽」に基づいた発表 相互批評、課題の確認	
13	「研鑽」に基づいた発表 相互批評、課題の確認	
14	「研鑽」に基づいた発表 相互批評、課題の確認	
15	教職課程の学びの総括	立命館大学の教職課程教育がめざす、教師力の基盤である三つの力「高い専門性」「子ども(人間)理解力」「伝える力(=実践力)」は身についたか。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

## 成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	平常点評価 100% ・「研鑽」についてレポート提出。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

テキストの指定はなし。適宜、参考となる図書を紹介する。講義、また演習では、適宜、資料の配付を行う

## 参考書 / Reference Books

適宜、参考となる図書を紹介する。

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

## (教)初等教育実習の研究A (SB)

11868

担当者名 / Instructor 岡本 尚子

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

本授業の履修対象者は、産業社会学部子ども社会専攻の学生で、小学校にて教育実習を行う学生である。内容は小学校での教育実習の事前指導に位置付くものである。内容は、立命館小学校授業観察や、授業づくり、指導案の書き方などで構成される。

## 受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

- ・教育実習の意義と内容が理解でき、心構えができる。
- ・立命館小学校の取り組みについて理解し、教育実習に必要な知識、理解を獲得できる。

## 事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

他の初等教職の科目、とりわけ、教育実習受講条件として実習前年度中に単位修得する 必要のある科目を中心に履修しておくことが望まれる。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1 【10月2日(水)】 ガイダンス		担当者による講義(教育実習の概要と実習の手引きについて) ポートフォリオの振り返り(2回生前期実施分)
2 【10月9日(水)】 小学校における教育実習とは		立命館小学校教員による講話
3 【10月30日(水)】 小学校における児童理解と生活指導について		小学校教員による講話
4-5 【11月13日(水)】 小学校における学習指導の実際		立命館小学校における授業観察
6 【11月27日(水)】 小学校における学習指導について		立命館小学校教員による講話
7-8 【12月14日(土)】 小学校における教育実習と大学での学びについて		小学校教員による講話及び上回生との経験交流

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

教育実習受講に際しての事前指導科目であるので、真摯で責任ある態度で臨むこと。また、日頃より新聞報道や書物講読等を通して、教育をめぐる社会動向やトピックに常に関心を向け、理解しておくこと。さらに、実習教科に関する指導法や教科専門性を養うため、いわゆる指導法系科目や「教科に関する科目」の履修を通して研鑽に努めること。

## 成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	出席とレポート等で総合的に評価する。 3回以上の欠席は単位不認。 20分以上の遅刻は欠席扱いとする。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
まると立命館小メソッド！～発見・創造、基礎 基本～	立命館小学校／学事出版／978-4761916497／

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

## その他 / Other

## 拡張項目



## (教)初等教育実習の研究A (SA)

11867

担当者名 / Instructor 中西 仁

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

本授業の履修対象者は、産業社会学部子ども社会専攻の学生で、小学校にて教育実習を行う学生である。内容は小学校での教育実習の事前指導に位置付くものである。内容は、立命館小学校授業観察や、授業づくり、指導案の書き方などで構成される。

## 受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

- ・教育実習の意義と内容が理解でき、心構えができる。
- ・立命館小学校の取り組みについて理解し、教育実習に必要な知識、理解を獲得できる。

## 事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

他の初等教職の科目、とりわけ、教育実習受講条件として実習前年度中に単位修得する 必要のある科目を中心に履修しておくことが望まれる。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1 【10月2日(水)】 ガイダンス		担当者による講義(教育実習の概要と実習の手引きについて) ポートフォリオの振り返り(2回生前期実施分)
2 【10月9日(水)】 小学校における教育実習とは		立命館小学校教員による講話
3 【10月30日(水)】 小学校における児童理解と生活指導について		小学校教員による講話
4-5 【11月13日(水)】 小学校における学習指導の実際		立命館小学校における授業観察
6 【11月27日(水)】 小学校における学習指導について		立命館小学校教員による講話
7-8 【12月14日(土)】 小学校における教育実習と大学での学びについて		小学校教員による講話及び上回生との経験交流

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

教育実習受講に際しての事前指導科目であるので、真摯で責任ある態度で臨むこと。また、日頃より新聞報道や書物講読等を通して、教育をめぐる社会動向やトピックに常に関心を向け、理解しておくこと。さらに、実習教科に関する指導法や教科専門性を養うため、いわゆる指導法系科目や「教科に関する科目」の履修を通して研鑽に努めること。

## 成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	出席とレポート等で総合的に評価する。 3回以上の欠席は単位不認。 20分以上の遅刻は欠席扱いとする。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

## 授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

## その他 / Other

## 拡張項目

(教)初等教育実習Ⅲ(事後指導を含む)(SB)

15464

担当者名 / Instructor 山下 芳樹

単位数 / Credit 4

## 授業の概要 / Course Outline

「(教)初等教育実習Ⅲ(事後指導を含む)」は、実習年度(4回生)の直前ガイダンス、実習校実習、事後指導から成り立っており、必要な手続きを行い、そのすべてに出席することが求められる。

## 受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

## 事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

「(教)初等教育実習Ⅲ(事後指導を含む)」の受講条件となっている科目について、実習前年度までに単位を修得しておかなければならない。

## 授業スケジュール / Course Schedule

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

## 成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	オリエンテーション・ガイダンス、ならびに事後指導や特別授業への出席状況、実習校における成績評価等を総合的に評価する。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

## その他 / Other

## 拡張項目



(教)初等教育実習Ⅲ(事後指導を含む)(SA)

15463

担当者名 / Instructor 中西 仁

単位数 / Credit 4

## 授業の概要 / Course Outline

「(教)初等教育実習Ⅲ(事後指導を含む)」は、実習年度(4回生)の直前ガイダンス、実習校実習、事後指導から成り立っており、必要な手続きを行い、そのすべてに出席することが求められる。

## 受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

## 事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

「(教)初等教育実習Ⅲ(事後指導を含む)」の受講条件となっている科目について、実習前年度までに単位を修得しておかなければならない。

## 授業スケジュール / Course Schedule

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

## 成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	オリエンテーション・ガイダンス、ならびに事後指導や特別授業への出席状況、実習校における成績評価等を総合的に評価する。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

## その他 / Other

## 拡張項目

## (教)介護等体験実習(Q1)

15321

担当者名 / Instructor 朝野 浩

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

介護等体験特例法に定められた要件を満たす体験実習として、本科目においては、特別支援学校2日間と社会福祉施設5日間の「介護等体験」(障害者、高齢者等に対する介護、介助、これらの者との交流等の体験)を行う。計7日間の体験実習を通じて、義務教育に従事する教員をめざす者として、個人の尊厳及び社会連帯の理念に関する認識を深めていくことをめざす。

## 受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

特別支援学校2日間、社会福祉施設5日間の計7日間の「介護等体験」(障害者、高齢者等に対する介護、介助、これらの人との交流等の体験)実習を通じて、義務教育に従事する教員を目指す者として、個人の尊厳及び社会連帯についての感性と認識を深める。

## 事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

他の教職課程科目。なお、本科目は、前年度に「(教)介護等体験の研究(1単位)」の単位を修得していなければ、受講することができない。

## 授業スケジュール / Course Schedule

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

## 成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind 割合 / Percentage 評価基準等 / Grading Criteria etc.

上記以外の試験・レポート、 100 % 「P(合格)」「F(不合格)」による評価。詳細は備考参照。  
平常点評価

体験先での取り組み状況や「終了報告書(レポート)」等を総合的に評価する。

なお、「介護等体験証明書のコピー」および「終了報告書」を、体験終了後1週間以内に必ず提出すること。「終了報告書」の提出がなければ成績評価対象とはならないので、特に注意すること。

【提出先】衣笠:教職教育課(至徳館1階)、BKC:教職教育課(BKC)(ユニオンスクエア1階)

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

## その他 / Other

本科目は、所属キャンパス・学部の別によらず、このクラス(Q1クラス)を受講登録すること。

## 拡張項目

## (教)介護等体験の研究 (GA)

16436

担当者名 / Instructor 朝野 浩

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

「介護等体験」は、1998年度より施行された「介護等体験特例法」に基づき、義務教育学校(小・中学校)の教員になるための必須要件となった制度である。この制度化の位置付けは、「人の心の痛みがわかる人づくりの実現に資することを目的とする」(文部科学省)とされている。また、その社会的背景として、急速に進行している少子高齢化の現実がある。近い将来、この高齢社会を支える担い手の減少状況を見据えた時、教育(とりわけ義務教育課程)における福祉的視点と実践的態度の育成が焦眉の課題であり、教員の資質として期待されている。本授業は、「介護等体験実習」の事前指導として、実習をより充実させるための理論的・実践的内容で構成する。

## 受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

「介護等体験」を行う場所、「特別支援学校」と「社会福祉施設」についての知識(理念・実態・課題等)を得ることにより、教職を目指すものとして、障害のある人々や高齢者・障害者・幼児児童等に対する理解を深め、「介護等体験」への意欲的姿勢を培う。

## 事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

小学校、中学校教員免許状の取得に必要な科目

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	第1回10/1(火) イントロダクション(オリエンテーション):「介護等体験」の位置付けとその意義。実施までの流れと登録手続きおよび受講クラスの確定	「2014年度体験者向け 介護等体験の手引き」(冊子) 風疹抗体検査の手続きおよび介護等体験参加申し込み(登録)
2	第2回10/15(火) 「特別支援学校」についてⅠ(講義)―「特別支援教育」の現状及び障害のある幼児児童生徒の実態と理解	障害観の変遷および自分にとっての障害とは
3	第3回10/29(火) 「特別支援学校」についてⅡ(講義)―「特別支援学校」の概要及び現状理解と「介護等体験」実施の様子	【中間レポート】「講義を聞いて3つのキーワードを選び記述および障害について思うこと」
4	第4回11/12(火) 「社会福祉施設」についてⅠ(講義)―高齢者福祉施設の現状と課題	施設長等による外部講師の講義
5	第5回11/26(火) 「社会福祉施設」についてⅡ(講義)―障害者福祉施設の現状と課題	施設長等による外部講師の講義
6	第6回12/10(火) 「介護等体験」実施に向けての自己理解(グループ・ワーク等)	※座席指定・グループ編成 ★次回の期日(必ず出席)に注意すること!! 第7回 ※12/17(火)
7	第7回 ※12/17(火) 「介護等体験」参加するに当たっての心構えとまとめ(講義・先輩の体験談等) 【★出席必須 ◎終了レポート提出一当日課題提示】 ※例年と異なっているので期日に注意!	「介護等体験の手引き」「フィリア」「よくわかる社会福祉施設」講義配布資料

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

特別支援学校インターンシップおよび障害児サークル・ボランティアに積極的に参加

## 成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	◎「介護等体験」は教職を目指す者としての最初の就職活動として取り組む心構えが必要である。その意義をよく理解し、熱意を持って授業に臨めたかどうかを最大の評価基準とする。原則として、全出席を最重要視する。 ◎特に、最終日(7回目)の出席及びレポート提出は必須である。欠席はF評価となる。…本年度は6回目と7回目は連続しているため、期日に注意すること。 ◎評価方法は下記「備考欄」の内容を踏まえて「P/F評価」とする。 ◎欠席事由: ①出席停止(感染症)に該当する病気 ②忌引き(2親等以内の血族・姻族) ③災害

- ④交通機関の延着  
⑤教育実習等(4回生以上、大学で確認)

## 【出席要件】

- ・5回以上の出席及び最終日の出席と「最終レポート」(必須)の提出をもって「P」評価とする。  
最終日の欠席は、5回以上出席していても「F」評価となるので、要注意である。  
そのため原則としてすべての授業への出席が必須となる。毎回、出席カード等(QRコード貼付のコミュニケーションカード)を持って出席確認を行う。
- ・事前届出の有無を問わず、3回以上欠席した場合は「F評価」とする。ただし、公欠事由を除く。
- ・また、「遅刻」「QRコード票無貼付」「私語」についても厳しく評価を行なう。  
QRコード票についても、2回貼付忘れの場合には、別途レポート課題を課し、提出をもって評価対象とする。
- ・20分超える「遅刻」の場合についても、欠席扱いとする。
- ・「私語」「携帯電話」「飲食」「無断途中退席」などについても厳しく評価を行う。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

小学校・中学校教員免許取得のために義務付けられている科目であるが、教職を目指す者として、今日の社会的課題である「ノーマライゼーション理念の具現化」に向けた実践的経験の場として自らの人権感覚を磨き、常識ある行動をとれるよう、積極的な姿勢を望む。

## 教科書 / Textbooks

テキストは使用しないが、「介護等体験の手引き」(改訂版)「フィリア」「よくわかる社会福祉施設」を参考に使う。  
また、2回目以降、適宜資料配付を行う。

## 参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
障害者白書2012版	社団法人日本発達障害福祉連盟 / 日本文化科学社 / /
特別支援教育基本用語100	上野一彦 / 明治図書 / /

「フィリア」「よくわかる社会福祉施設」「手引き冊子」は、授業時において別途配布する(介護等体験履修料@3000-に中に含む)。

## 参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業で学ぶ内容をより深めるために、各特別支援学校ホーム・ページや児童福祉施・障害者福祉・高齢者福祉などの関連したページを検索し参照することを勧める。

## 授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

## その他 / Other

出席管理には「QRコード・シール」を使用する。  
受講生は必ず毎回「QRコード・シール」を持参すること。  
2回忘れた場合には別途レポート課題を課し評価対象とする

## 拡張項目

## (教)介護等体験の研究 (GB)

16437

担当者名 / Instructor 朝野 浩

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

「介護等体験」は、1998年度より施行された「介護等体験特例法」に基づき、義務教育学校(小・中学校)の教員になるための必須要件となった制度である。この制度化の位置付けは、「人の心の痛みがわかる人づくりの実現に資することを目的とする」(文部科学省)とされている。また、その社会的背景として、急速に進行している少子高齢化の現実がある。近い将来、この高齢社会を支える担い手の減少状況を見据えた時、教育(とりわけ義務教育課程)における福祉的視点と実践的態度の育成が焦眉の課題であり、教員の資質として期待されている。本授業は、「介護等体験実習」の事前指導として、実習をより充実させるための理論的・実践的内容で構成する。

## 受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

「介護等体験」を行う場所、「特別支援学校」と「社会福祉施設」についての知識(理念・実態・課題等)を得ることにより、教職を目指すものとして、障害のある人々や高齢者・障害者・幼児児童等に対する理解を深め、「介護等体験」への意欲的姿勢を培う。

## 事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

小学校、中学校教員免許状の取得に必要な科目

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	第1回10/2(水) イントロダクション(オリエンテーション): 「介護等体験」の位置付けとその意義。実施までの流れと登録手続きおよび受講クラスの確定	「2014年度体験者向け 介護等体験の手引き」(冊子) 風疹抗体検査の手続きおよび介護等体験参加申し込み(登録)
2	第2回10/16(水) 「特別支援学校」についてⅠ(講義)―「特別支援教育」の現状及び障害のある幼児児童生徒の実態と理解	障害観の変遷および自分にとっての障害とは
3	第3回10/30(水) 「特別支援学校」についてⅡ(講義)―「特別支援学校」の概要及び現状理解と「介護等体験」実施の様子	【中間レポート】「講義を聞いて3つのキーワードを選び記述および障害について思うこと」
4	第4回11/13(水) 「社会福祉施設」についてⅠ(講義)―高齢者福祉施設の現状と課題	施設長等による外部講師の講義
5	第5回11/27(水) 「社会福祉施設」についてⅡ(講義)―障害者福祉施設の現状と課題	施設長等による外部講師の講義
6	第6回12/11(水) 「介護等体験」実施に向けての自己理解(グループ・ワーク等)	※座席指定・グループ編成 ★次回の期日(必ず出席)に注意すること!! 第7回 ※12/18(水)
7	第7回 ※12/18(水) 「介護等体験」参加するに当たっての心構えとまとめ(講義・先輩の体験談等) 【★出席必須 ◎終了レポート提出一当日課題提示】 ※例年と異なっているので期日に注意!	「介護等体験の手引き」「フィリア」「よくわかる社会福祉施設」「講義配布資料」

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

特別支援学校インターンシップおよび障害児サークル・ボランティアに積極的に参加

## 成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、平常点評価	100 %	◎「介護等体験」は教職を目指す者としての最初の就職活動として取り組む心構えが必要である。その意義をよく理解し、熱意を持って授業に臨めたかどうかを最大の評価基準とする。原則として、全出席を最重要視する。 ◎特に、最終日(7回目)の出席及びレポート提出は必須である。欠席はF評価となる。…本年度は6回目と7回目は連続しているため、期日に注意すること。 ◎評価方法は下記「備考欄」の内容を踏まえて「P/F評価」とする。 ◎公欠事由: ①出席停止(感染症)に該当する病気 ②忌引き(2親等以内の血族・姻族) ③災害 ④交通機関の延着 ⑤教育実習等(4回生以上、大学で確認)

【出席要件】

- ・5回以上の出席及び最終日の出席と「最終レポート」(必須)の提出をもって「P」評価とする。  
最終日の欠席は、5回以上出席していても「F」評価となるので、要注意である。  
そのため原則としてすべての授業への出席が必須となる。毎回、出席カード等(QRコード貼付のコミュニケーションカード)を持って出席確認を行う。
- ・事前届出の有無を問わず、3回以上欠席した場合は「F評価」とする。ただし、公欠事由を除く。
- ・また、「遅刻」「QRコード票無貼付」「私語」についても厳しく評価を行なう。  
QRコード票についても、2回貼付忘れの場合には、別途レポート課題を課し、提出をもって評価対象とする。
- ・20分超える「遅刻」の場合についても、欠席扱いとする。
- ・「私語」「携帯電話」「飲食」「無断途中退席」などについても厳しく評価を行う。

#### 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

小学校・中学校教員免許取得のために義務付けられている科目であるが、教職を目指す者として、今日の社会的課題である「ノーマライゼーション理念の具現化」に向けた実践的経験の場として自らの人権感覚を磨き、常識ある行動をとれるよう、積極的な姿勢を望む。

#### 教科書 / Textbooks

テキストは使用しないが、「介護等体験の手引き」(改訂版)「フィリア」「よくわかる社会福祉施設」を参考に使う。  
また、2回目以降、適宜資料配付を行う。

#### 参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
障害者白書2012版	社団法人日本発達障害福祉連盟 / 日本文化科学社 / /
特別支援教育基本用語100	上野一彦 / 明治図書 / /

「フィリア」「よくわかる社会福祉施設」「手引き冊子」は、授業時において別途配布する(介護等体験履修料@3000-に中に含む)。

#### 参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業で学ぶ内容をより深めるために、各特別支援学校ホーム・ページや児童福祉施・障害者福祉・高齢者福祉などの関連したページを検索し参照することを勧める。

#### 授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

#### その他 / Other

出席管理には「QRコード・シール」を使用する。  
受講生は必ず毎回「QRコード・シール」を持参すること。  
2回忘れた場合には別途レポート課題を課し評価対象とする

#### 拡張項目

## (教)介護等体験の研究 (GC)

16440

担当者名 / Instructor 朝野 浩

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

「介護等体験」は、1998年度より施行された「介護等体験特例法」に基づき、義務教育学校(小・中学校)の教員になるための必須要件となった制度である。この制度化の位置付けは、「人の心の痛みがわかる人づくりの実現に資することを目的とする」(文部科学省)とされている。また、その社会的背景として、急速に進行している少子高齢化の現実がある。近い将来、この高齢社会を支える担い手の減少状況を見据えた時、教育(とりわけ義務教育課程)における福祉的視点と実践的態度の育成が焦眉の課題であり、教員の資質として期待されている。本授業は、「介護等体験実習」の事前指導として、実習をより充実させるための理論的・実践的内容で構成する。

## 受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

「介護等体験」を行う場所、「特別支援学校」と「社会福祉施設」についての知識(理念・実態・課題等)を得ることにより、教職を目指すものとして、障害のある人々や高齢者・障害者・幼児児童等に対する理解を深め、「介護等体験」への意欲的姿勢を培う。

## 事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

小学校、中学校教員免許状の取得に必要な科目

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	第1回10/2(水) イントロダクション(オリエンテーション):「介護等体験」の位置付けとその意義。実施までの流れと登録手続きおよび受講クラスの確定	「2014年度体験者向け 介護等体験の手引き」(冊子) 風疹抗体検査の手続きおよび介護等体験参加申し込み(登録)
2	第2回10/16(水) 「特別支援学校」についてⅠ(講義)―「特別支援教育」の現状及び障害のある幼児児童生徒の実態と理解	障害観の変遷および自分にとっての障害とは
3	第3回10/30(水) 「特別支援学校」についてⅡ(講義)―「特別支援学校」の概要及び現状理解と「介護等体験」実施の様子	【中間レポート】「講義を聞いて3つのキーワードを選び記述および障害について思うこと」
4	第4回11/13(水) 「社会福祉施設」についてⅠ(講義)―高齢者福祉施設の現状と課題	施設長等による外部講師の講義
5	第5回11/27(水) 「社会福祉施設」についてⅡ(講義)―障害者福祉施設の現状と課題	施設長等による外部講師の講義
6	第6回12/11(水) 「介護等体験」実施に向けての自己理解(グループ・ワーク等)	※座席指定・グループ編成 ★次回の期日(必ず出席)に注意すること!! 第7回 ※12/18(水)
7	第7回 ※12/18(水) 「介護等体験」参加するに当たっての心構えとまとめ(講義・先輩の体験談等) 【★出席必須 ◎終了レポート提出―当日課題提示】 ※例年と異なっているので期日に注意!	「介護等体験の手引き」「フィリア」「よくわかる社会福祉施設」「講義配布資料」

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

特別支援学校インターンシップおよび障害児サークル・ボランティアに積極的に参加

## 成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、平常点評価	100 %	◎「介護等体験」は教職を目指す者としての最初の就職活動として取り組む心構えが必要である。その意義をよく理解し、熱意を持って授業に臨めたかどうかを最大の評価基準とする。原則として、全出席を最重要視する。 ◎特に、最終日(7回目)の出席及びレポート提出は必須である。欠席はF評価となる。…本年度は6回目と7回目は連続しているため、期日に注意すること。 ◎評価方法は下記「備考欄」の内容を踏まえて「P/F評価」とする。 ◎公欠事由: ①出席停止(感染症)に該当する病気 ②忌引き(2親等以内の血族・姻族) ③災害 ④交通機関の延着 ⑤教育実習等(4回生以上、大学で確認)

【出席要件】

- ・5回以上の出席及び最終日の出席と「最終レポート」(必須)の提出をもって「P」評価とする。  
最終日の欠席は、5回以上出席していても「F」評価となるので、要注意である。  
そのため原則としてすべての授業への出席が必須となる。毎回、出席カード等(QRコード貼付のコミュニケーションカード)を持って出席確認を行う。
- ・事前届出の有無を問わず、3回以上欠席した場合は「F評価」とする。ただし、公欠事由を除く。
- ・また、「遅刻」「QRコード票無貼付」「私語」についても厳しく評価を行なう。  
QRコード票についても、2回貼付忘れの場合には、別途レポート課題を課し、提出をもって評価対象とする。
- ・20分超える「遅刻」の場合についても、欠席扱いとする。
- ・「私語」「携帯電話」「飲食」「無断途中退席」などについても厳しく評価を行う。

#### 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

小学校・中学校教員免許取得のために義務付けられている科目であるが、教職を目指す者として、今日の社会的課題である「ノーマライゼーション理念の具現化」に向けた実践的経験の場として自らの人権感覚を磨き、常識ある行動をとれるよう、積極的な姿勢を望む。

#### 教科書 / Textbooks

テキストは使用しないが、「介護等体験の手引き」(改訂版)「フィリア」「よくわかる社会福祉施設」を参考に使う。  
また、2回目以降、適宜資料配付を行う。

#### 参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
障害者白書2012版	社団法人日本発達障害福祉連盟 / 日本文化科学社 / /
特別支援教育基本用語100	上野一彦 / 明治図書 / /

「フィリア」「よくわかる社会福祉施設」「手引き冊子」は、授業時において別途配布する(介護等体験履修料@3000-に中に含む)。

#### 参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業で学ぶ内容をより深めるために、各特別支援学校ホーム・ページや児童福祉施設・障害者福祉・高齢者福祉などの関連したページを検索し参照することを勧める。

#### 授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

#### その他 / Other

出席管理には「QRコード・シール」を使用する。  
受講生は必ず毎回「QRコード・シール」を持参すること。  
2回忘れた場合には別途レポート課題を課し評価対象とする

#### 拡張項目



(教)初等教育実習 I (SB)

15388

担当者名 / Instructor 角田 将士

単位数 / Credit 2

## 授業の概要 / Course Outline

「初等教育実習 I」は、実習年度に実施される直前ガイダンス、実習校実習、事後指導から成り立っている。  
必要な手続きを行い、そのすべてを履修しなければならない。

## 受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

- ◇教育実践に必要な知識・技能を体験的に理解・習得する。
- ◇児童・学校についての理解を深める。
- ◇教師としての資質向上に関する課題意識を育てる。

## 事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

「教育実習 I」の受講条件となっている科目について、実習前年度までに単位を修得しておかなければならない。詳細は産業社会学部履修要項の「子ども社会専攻学生の小学校一種免許状の取得について」のページを参照のこと。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	教育実習直前ガイダンス	
2	実習校(立命館小学校)における教育実習(2週間)	
3	教育実習事後指導	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

## 成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	直前ガイダンス、事後指導ならびに、実習校における成績評価等を総合的に評価する。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

『初等教育実習の手引き』立命館大学産業社会学部小学校教員養成課程

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

## 授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

質問等がある場合には小学校教員養成課程サポートセンターか、担当者(kakuda@ss.ritsume.ac.jp)まで直接連絡をすること。

## その他 / Other

直前ガイダンス・事後指導の内容や日程等については、後日発表するので、小学校教員養成課程サポートセンターからの連絡や掲示に十分注意すること。

## 拡張項目

(教)初等教育実習Ⅱ(事後指導を含む)(SA)

15453

担当者名 / Instructor 中西 仁

単位数 / Credit 2

## 授業の概要 / Course Outline

「(教)初等教育実習Ⅱ(事後指導を含む)」は、実習年度(4年生)の直前ガイダンス、実習校実習、事後指導から成り立っており、必要な手続きを行い、そのすべてに出席することが求められる。

## 受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

## 事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

「(教)初等教育実習Ⅱ(事後指導を含む)」の受講条件となっている科目について、実習前年度までに単位を修得しておかなければならない。

## 授業スケジュール / Course Schedule

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

## 成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	オリエンテーション・ガイダンス、ならびに事後指導や特別授業への出席状況、実習校における成績評価等を総合的に評価する。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

## その他 / Other

受講登録にあたっては、各自が受講した「初等教育実習の研究(事前指導)」と同一クラスを登録すること。

## 拡張項目

(教)初等教育実習Ⅱ(事後指導を含む)(SB)

15454

担当者名 / Instructor 山下 芳樹

単位数 / Credit 2

## 授業の概要 / Course Outline

「(教)初等教育実習Ⅱ(事後指導を含む)」は、実習年度(4年生)の直前ガイダンス、実習校実習、事後指導から成り立っており、必要な手続きを行い、そのすべてに出席することが求められる。

## 受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

## 事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

「(教)初等教育実習Ⅱ(事後指導を含む)」の受講条件となっている科目について、実習前年度までに単位を修得しておかなければならない。

## 授業スケジュール / Course Schedule

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

## 成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	オリエンテーション・ガイダンス、ならびに事後指導や特別授業への出席状況、実習校における成績評価等を総合的に評価する。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

## その他 / Other

受講登録にあたっては、各自が受講した「初等教育実習の研究(事前指導)」と同一クラスを登録すること。

## 拡張項目

(教)初等教育実習 I (SA)

15387

担当者名 / Instructor 石田 智巳

単位数 / Credit 2

## 授業の概要 / Course Outline

「初等教育実習 I」は、実習年度に実施される直前ガイダンス、実習校実習、事後指導から成り立っている。  
必要な手続きを行い、そのすべてを履修しなければならない。

## 受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

- ◇教育実践に必要な知識・技能を体験的に理解・習得する。
- ◇児童・学校についての理解を深める。
- ◇教師としての資質向上に関する課題意識を育てる。

## 事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

「教育実習 I」の受講条件となっている科目について、実習前年度までに単位を修得しておかなければならない。詳細は産業社会学部履修要項の「子ども社会専攻学生の小学校一種免許状の取得について」のページを参照のこと。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	1 教育実習直前ガイダンス	
	2 実習校(立命館小学校)における教育実習(2週間)	
	3 教育実習事後指導	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

## 成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	直前ガイダンス、事後指導ならびに、実習校における成績評価等を総合的に評価する。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

『初等教育実習の手引き』立命館大学産業社会学部小学校教員養成課程

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

## その他 / Other

直前ガイダンス・事後指導の内容や日程等については、後日発表するので、小学校教員養成課程サポートセンターからの連絡や掲示に十分注意すること。

## 拡張項目

(教)介護等体験実習(Q2)

13911

担当者名 / Instructor 朝野 浩

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目